

平成23年 2月24日
岩手河川国道事務所

岩手山噴火時の被害軽減のため 緊急的な砂防計画をとりまとめます

～ 学識経験者や防災行政関係者により
「岩手山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」（計画策定の最終回）を開催～

岩手河川国道事務所では、岩手山が噴火した際の緊急対応について、平成21年より学識経験者らによる委員会を組織し、火山噴火に伴う土砂災害の被害想定、緊急ハード対策、緊急ソフト対策、平常時からの準備事項等について検討を進めてきました。

今回、「岩手山火山噴火緊急減災対策砂防計画（案）」をとりまとめます。

記

日 時： 平成23年 3月 1日（火） 15:00～（17:00）

場 所： ホテルルイズ 3階 万葉の間
岩手県盛岡市盛岡駅前通7-15

内 容： 「岩手山火山噴火緊急減災対策砂防計画（案）」について 他

<発表記者会> 岩手県政記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所 住所 盛岡市上田四丁目2-2 TEL 019-624-3166 副所長（河川） 瀧澤 靖明（内線204） 調査第一課長 鈴木 啓介（内線351）

第5回 岩手山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会

日 時： 平成22年3月1日(火)
15:00～(17:00)

場 所： 盛岡市 ホテルルイズ
万葉の間(3F)

議 事 次 第(案)

1. 開 会 (15:00)
2. 開会挨拶
3. 情報提供 (15:05～)
 - 1) 住民意識アンケート結果の報告(岩手県立大学 伊藤准教授から)
 - 2) 土砂災害防止法改正について(事務局から)
 - 3) 霧島新燃岳における緊急対応について(事務局から)
4. 議 事 (15:20～)
岩手山火山噴火緊急減災対策砂防計画(案)
5. 自由討議 (16:10～)
6. 閉 会 (16:45)

注 閉会後に、

報道各社に対し、本計画の趣旨・重要性等のご説明、及びご質問等に対応いたします。

対応者： 齋藤徳美委員長、岩手河川国道事務所 調査第一課長 鈴木啓介 他

参考：本委員会の開催経過と主な検討内容

平成21年 2月	第1回	岩手山の噴火シナリオの作成
平成21年10月	第2回	岩手山の噴火シナリオのケース、影響範囲の把握
平成22年 2月	第3回	緊急対策の優先順位、緊急ハード対策、緊急ソフト対策
平成22年12月	第4回	平常時からの準備事項、 岩手山火山噴火緊急減災対策砂防計画(案)の概要

第 5 回 岩手山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会 委員名簿

(順不同・敬称略)

委員長	齋藤 徳美	放送大学 岩手学習センター 所長
委員	檜垣 大助	弘前大学農学生命科学部 教授
〃	土井 宣夫	岩手大学教育学部 教授
〃	井良沢道也	岩手大学農学部 准教授
〃	植木 貞人	東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター 准教授
〃	伊藤 英之	岩手県立大学総合政策学部 准教授
〃	小山内信智	国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター砂防研究室 室長
〃	鈴木 京悦	林野庁東北森林管理局森林整備部 専門官
〃	越野 修三	岩手県総務部総合防災室 防災危機管理監
〃	藤原 健二	岩手県県土整備部砂防災害課 総括課長
〃	関根 一男	気象庁仙台管区气象台技術部 火山防災情報調整官
〃	日野 修	気象庁盛岡地方气象台 台長
〃	山科 勝嗣	東北地方整備局河川部 流域・水防調整官
〃	今 日出人	東北地方整備局岩手河川国道事務所 所長

【オブザーバー】

小林 栄樹	陸上自衛隊岩手駐屯地 第 9 特科連隊 連隊長
谷藤 裕明	盛岡市長
田村 正彦	八幡平市長
深谷 政光	雫石町長
柳村 典秀	滝沢村長
岩間 光男	東日本高速道路(株) 東北支社 盛岡管理事務所 所長

【事務局】

国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所 (調査第一課)